

乳幼児の感染症について

園は、乳幼児が長時間にわたり集団で生活する場所です。園内での感染を防止するためにも、症状が回復するまでは登園を控えるなどのご協力をお願いします(登園のめやす参照)。

また、休日に感染症にかかったことを医師に診断されたり、発熱・下痢・嘔吐などの症状があった場合(同居の家族を含む)は、登園時に園にお知らせください。

1. 登園基準があり、登園に際して医師が記入する「登園許可証明書」の必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種※
麻疹 (はしか)	8～12日	高熱、咳、鼻汁、目やに・充血 頬の内側の白い斑点、発しん など (合併症)肺炎・中耳炎・脳炎など	飛沫 接触 空気	発症1日前～発 しん出現後の 4日後まで	解熱後3日を経過 していること	定期接種 1期:1歳～ 2歳未満 2期:年長児
風しん	16～18日	全身に赤くて小さな発しん リンパ節の腫れ、発熱 など (合併症)関節炎など	飛沫 接触	発しん出現の 7日前～7日後 くらい	発しんが消失して いること	定期接種 1期:1歳～ 2歳未満 2期:年長児
百日咳	7～10日	風邪のような症状、長引く しつこい特有な咳、嘔吐 など (合併症)肺炎、脳炎、3か月未満の 乳児の場合 無呼吸発作 など	飛沫 接触	抗菌薬を服用し ない場合、咳出 現後3週間を経 過するまで	特有の咳が消失し ていること又は適 正な抗菌薬による 5日間の治療が終 了していること	定期接種 3か月～
流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16～18日	耳の下(耳下腺など)の腫れ 痛み、発熱など (合併症)無菌性髄膜炎、難聴 脳炎 など	飛沫 接触	発症3日前～ 耳下腺腫脹後 4日	耳下腺・顎下腺・舌 下腺の腫脹が発現 してから5日経過し かつ全身状態が良 好になっていること	任意接種 1歳～
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	発しん、発熱、だるさ など *発しんは赤い発しんから始まり 水疱(水ぶくれ)となり、その後 乾いて黒いかさぶたになる (合併症)脳炎、肺炎 など	飛沫 接触 空気	発しん出現1～ 2日前から痂皮 (かさぶた)形成 まで	すべての発しんが 痂皮(かさぶた)化 していること	定期接種 1歳～ 3歳未満
咽頭結膜熱 (プール熱)	2～14日	39～40℃の高熱、のどの痛み 充血、眼痛、目やに など	飛沫 接触	症状が出現した 数日間	主な症状消失後2日 を経過していること	なし
流行性 角結膜炎	2～14日	目やに、結膜充血、まぶたの 腫れ など	飛沫 接触	症状が出現した 数日間	結膜炎の症状が 消失していること	なし
急性出血性 結膜炎	1～3日	目やに、結膜充血、結膜下出血 まぶたの腫れ など	飛沫 接触	不明	感染のおそれがない と認められていること	なし
感染性 胃腸炎 (ノロウイルス・ロ タウイルスなど)	12時間 ～3日	嘔吐、下痢、腹痛、発熱 など	飛沫 接触 経口 空気	症状のある間と 症状消失後1週 間(～数週間程 度)	下痢、嘔吐などの 症状が治まり、普段 の食事がとれること	ノロウイルスなし ロタウイルスは 定期接種 6週～24週未満 又は6週～32週 未満

*この他に腸管出血性大腸菌感染症、結核、細菌性赤痢などお休みしていただく感染症があります。

*新型コロナウイルス感染症に関しては、最新の情報や主治医・保健所の指示に従ってください。

※ 予防接種について(詳細は健康カレンダーなどを参照してください。)

定期接種・・・予防接種法により、対象者が受けるよう努めなければならないと定められている予防接種です。

任意接種・・・接種を希望する方が医師と相談して行う予防接種です。

2. 登園に際して医師の診断を受け、保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種
溶連菌 感染症	2～5日	突然の発熱、のどの痛み だるさ、舌が莓状に赤く腫れる 全身の赤い発しん など	飛沫 接触 経口	適切な治療を開 始する前と開始 後1日間	抗菌薬内服後1～ 2日経過している こと	なし
マイコプラ ズマ肺炎	2～3週	しつこい咳、発熱、頭痛 など	飛沫	治療を開始する 前と開始後数日 間	発熱や激しい咳が 治まっていること	なし

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種
ヘルパンギーナ	3～6日	38～40℃の熱、のどの痛み のどの奥の小さな水疱(水ぶくれ) など	飛沫 接触 経口	急性期の数日間	発熱や口腔内の水疱等の影響がなく普段の食事がとれること	なし
手足口病	3～6日	口の中、手のひら、足のうらにできる小さな水疱(水ぶくれ) 発熱 など	飛沫 接触 経口	水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱等の影響がなく普段の食事がとれること	なし
伝染性紅斑(りんご病)	4～14日	頬がリンゴのように赤くなる 太ももや腕に赤い斑点やあみ目模様 など(感染後5～10日に発熱、頭痛など)	飛沫	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと (発しんのみの場合) 合は登園可能	なし
突発性発しん	9～10日	突然の高熱(熱が3～4日続く) 解熱とともに発しん、下痢 など	飛沫 経口 など	不明	解熱し機嫌が良く 全身状態が良いこと	なし
RSウイルス感染症	4～6日	発熱、咳、鼻水、ゼイゼイと音のする呼吸 など (合併症)細気管支炎、肺炎 など	飛沫 接触	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと	なし
インフルエンザ	1～4日	突然の高熱、頭痛、のどの痛み だるさ、咳、鼻汁 など (合併症)気管支炎、脳症 など	飛沫 接触	症状がある期間 (発症前24時間～ 発症後3日程度)	発症後5日を経過し かつ解熱した後3日 を経過していること	任意接種
帯状疱疹	不定	赤い発しん、小さな水疱(水ぶくれ) が帯状に、片側に現れる 痛み、かゆみ、ピリピリ感	接触	水疱を形成している間	すべての発しんが 痂皮(かさぶた)化 していること	なし

3. プール活動などの際に、医師が記入した「プール活動許可証明書」が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
伝染性膿痂しん(とびひ)	2～10日	すり傷や虫刺され、あせも 湿しんなどに菌が入り水疱 (水ぶくれ)、びらん、かさぶた ができる	接触	症状のある期間 (原因菌が含まれた 浸出液が接触する ことで感染する)	プール活動は不可。 治療をして、患部をガーゼ等で 覆い露出がなければ登園は可能 であるが、患部が多発・広範囲の 場合は登園を控える。

4. その他感染症

(1) 許可証明書は必要ありませんが、早急に駆除が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
アタマジラミ	10～30日	頭髮に虫卵・成虫を認める かゆみ	接触	頭髮に虫卵・成虫を認める期間	薬剤で駆除する(卵がふ化するまで 2～3日間隔で3～4回駆除する)。

(2) その他

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
伝染性軟属腫(水いぼ)	2～7週	丸くてつやのある発しん つぶれると白い液が出る	接触	いぼのある期間 (いぼの中の 白い液が感染源 となる)	プール活動の際は、いぼを傷テープ 等で覆う。覆いきれない時は、T シャツやハーフパンツなどを着用 する。いぼが潰れてじゅくじゅくし ている時は、プール活動は不可。

5. こんな時は、登園を控えてください。

症状	登園を控え、ご家庭で様子を見てほしい時	備考
発熱	<ul style="list-style-type: none"> 朝から37.5℃を超える熱とともに元気がなく機嫌が悪い、食欲がない。 24時間以内に解熱剤を使用している。 24時間以内に38℃以上の熱がでた。 	<ul style="list-style-type: none"> 症状が続く時は受診しましょう。 回復には、症状が出ていた期間と同じだけの日数が必要です。
下痢	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上、普段より柔らかい～水のような便が出た。 食事や水分を摂ると下痢をする。 	
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> 24時間以内に2回以上吐いた。 食欲がなく、水分もほしがらない。 機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしている。 	